

移庁式挙行

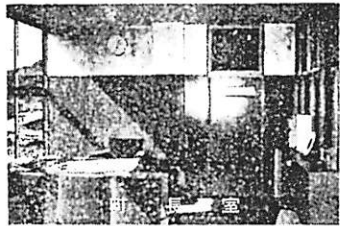
屋上で
二月十二日午前九時三十分、新庁舎三階以上で、本庁全職員、各支所長が出席、来賓の前議長委員全員参列のもとに、神式によりおこなった移庁式が行われました。

式上、最前議長は、新庁舎に移転して、全職員はさらに心算一致して、町民の公僕としての自覚と使命感を堅持し、日常の執行に当るようにと訓示されました。

一階、全職員の前には、ヨシ大いにかんはつてやるぞ...という気概が見えるようでした。

落成式行わる

町は、本日内外の関係者および七〇名を招待し、盛大な落成式典を挙行しました。



NHK夏季移動相談

八月下旬開催の予定
毎年全国放送で播かれたりしているNHKの「夏季移動相談」ラジオ体操、健康相談や無料診療、身の上相談などが、きたる八月九、十日の二日間の予定で、当町で開催されることに、放送局で内定されたとのこと。

正式に決定すれば、改めてお知らせしますが、予定としてお知らせさせていただきます。

人権擁護委員さる

徳地町大字上村字大町
松田実雄氏

全氏は、前任人権擁護委員として活躍されておりましたが、旧年未任期満了となつていましたが十二月十五日付けで、法務大臣より再任の辞令が交付されたので、引続いて人権擁護委員として働いていただくことになりました。

国民年金保険料の

完納についてお願い
昭和36年度の国民年金保険料のうち、滞納分については、昭和37年4月以降は、厚生省でその徴収をすることになりました。

そこで、これまで印紙で納めていた保険料は、現金を国民年金課へ送達しなければなりません。また滞納分については、国税と金庫、強制執行や延滞金の徴収も行われますので、

あなたの年金手帳には、三月末日までに、印紙をはつておいてください。

転出、死亡、就職、軍人恩給納付を要している場合は、至急印紙に国民年金手帳をそえて、事務所に納付してください。

特に保険料免除申請は、三月中旬に出した場合は、大巾に適用されますから、えんりよくお申し出ください。



四月一日から

家畜人工授精料金が変わる

現在、第一回に預けつけて一回で受納しない場合、二・三回までの授精料(車馬賃を含む)の一部を町費で負担していましたが、昭和三十七年度からは、町費負担を行わないので全額畜主の負担となります。

ただし、西岡以降については獣医師の生殖指導でないことを証明する診断書を送って申請したものに限り、授精料の一部を町費で負担します。

畜主は、家畜の管理をよくしていただくと共に、発情時期や、液候についても、いっそうご留意ください。

なほ畜主の町費負担分は、別の方法で生産者に交付する考えです。

ねすみ退治の成果

年末より展開していましたが、ねずみの一斉駆除で、皆さまのご協力でつぎの成果をあげました。

出雲地区八五四四、八坂地区では三八五四、島地区二七五四、田野地区二五二四、串地区一八五四で、合計一九五四四となつています。

個人の最多捕獲者は、下庄方の岡田正治さんで、九〇匹も捕獲しております。

ねずみの当番番号は決定次第、滞後婦人会長さん宛にお知らせします。

小児マヒの

生ワクチン投与の予告
さる2月下旬、町内の小学校の六年生以下全員に、小児マヒ型生ワクチンの投与を実施しましたが、来る4月下旬ごろ

Ⅰ型、Ⅱ型混合ワクチンの投与を行います。

この前、Ⅰ型を服用した人はかならずⅡ型、Ⅱ型の混合ワクチンを服用しなければなりません。日時が決定したら連絡します。

豚コレラ予防注射

実施のおしらせ
④ 4月9日 16時まで
出雲地区の各飼育宅
④ 4月10日 16時まで
八坂地区の飼育宅
④ 4月11日 16時まで

八坂、田野地区の飼育宅

4月12日 9時16時まで

鳥地、串地区の飼育宅

申込みは3月27日までに本庁または支所へどうぞ。

狂犬病予防接種

4月上旬、町内いっせいに狂犬病予防接種を行います。

接種料は一頭三〇〇円
狂犬病予防接種は一八〇円です。なお、集合注射を希望と、単独注射となり、料金が二八〇円となります。

また、3月中に不用犬の買上げを行う予定です。

住宅建設資金の

借入れ申込みは
この資金の借入れ申込みは、毎年3月下旬ごろから始まり、ご希望者は、役場に申込み用紙がまいりますので、ご協力のうえ、お申込みください。

引揚者の皆さんへ

社団法人、山口県学生会ならびに在外産産獲得同盟では、引揚者団体連合会の指示で、引揚者の在外産産補償請求についての権利を確保するため、助成中断の手続きを、全国いっせいに実施することを起しております。

これは、有形無形の財産請求権を、登録して運動しようというもので、三月末までに、登録請求書に手続料として、金十円を納付することになっています。

くわしいことは、地区正会長にご相談のうえ、お出法を下さい。

新入児童は

まず健康が第一
新入児童は、学校生活の第一歩ですから、家庭の関心も深くそのための準備もなかなかたいへんだと思います。

学習用品など、物の準備はたいせつですが、それにもまして大切なのは、新入児童自身の問題だと思えます。

一番大切なことは、入学するまでに、丈夫なからだにしておくこと、友だちと仲よく遊べることや団体生活に必要なしつけをしておくことなどを忘れないようにしたいものです。